

「当たり前」が人間を支える

校長 八木 慎一

ところどころで水面が凍結している霞川に沿ってパトロールしていると、ほのかに花の香りがしました。香りの源をたどると黄色く透き通った蠟梅（ロウバイ）の花からの香りでした。春は少しずつですが確実に近づいて来ています。

さて、2月8日に新入生の保護者説明会があります。その会で新1年生の保護者に話す内容を整理していると、説明会で話す内容は在校生にも当てはまることだと気付きました。以下の内容をぜひご家庭でも振り返って、話題にしてくださいとありがたいです。

あいさつ 社会生活を送る基本的なマナーとしてあいさつがあります。第三小ではあいさつの励行に取り組んでいます。その成果もあり、“おはようございます” “こんにちは” “さようなら” “ありがとうございます” 等、きちんとあいさつできる子供がほとんどです。よりしっかりと身に付け、家庭や地域社会でもあいさつを浸透させるためには、家庭や地域でも大人が見本を見せるのが一番の方法です。

身の回りの整理整頓 学校では大丈夫だけど、家での整理整頓は苦手だという子供の話をよく聞きます。朝の身支度や身だしなみ、日々の持ち物の準備、整理整頓等、自分のことを自分でできることは大切な力です。これは自律心を育てる基盤ともいえます。

話を最後まで聞く 話を最後まで聞くことは学習の基礎・基本でもあります。子供たちは最後まで話を聞かずに理解した気になることがあります。また、子供たちは自分の話を聞いてほしいとも思っています。最後まで静かに話を聞く習慣を身につけさせたいものです。そのためには、我々大人も子供の話を最後まで聞く姿勢を見せることが大事です。

早寝・早起き・朝ごはん 子供が元気に登校するためには、規則正しい生活が必要です。また、授業に集中するための脳のエネルギー源としても朝ごはんは欠かせません。時々、遅刻しそうになって走って登校する子供を見かけ心配です。ゲーム依存もとても心配です。有効な時間の使い方を考え、睡眠時間の確保に努めていただければ幸いです。

これらは在校生の入学時にも聞いた話だと思いますが、時間の経過とともに忘れがちです。基本に立ち返って日々の生活を見つめ直すことも大切です。「当たり前」のことが「当たり前」にできる子の育成を目指し、子供たちのよいお手本となるよう教職員も頑張ります。

4年生から

1月22日（月）から26日（金）は、全校長縄チャレンジ週間でした。26日（金）の長縄記録会に向けて、4年生は、各クラスで8の字跳びの練習に取り組みました。

8の字跳びに不慣れな子や、「縄跳びは好きだけど、8の字跳びは、うーん…」という子もいたため、初めのうちは、跳ぶタイミングや縄の抜け方などを繰り返し練習しました。最初は、他のクラスの子たちが跳んだ回数が気になって、つい記録にこだわってしまいました。

しかし、練習が進むと、「連続で跳べるようになったよ。」「縄に入るのが怖かったけど、友達が背中を押して跳ぶタイミングを覚えてくれたおかげで、自分で入れるようになったよ。」など、子供たちなりに自分の成長を確かめられるようになりました。

上手に跳んでいる子だけでなく、跳べなかったけれど跳べるようになった子、休み時間も練習を頑張っていた子、優しい声掛けをしていた子、跳ぶ子に合わせて縄を回す速さを変えている子など、様々な子供たちの頑張りや工夫に、お互いが目を向けられるようになってきました。

長縄チャレンジ週間で学んだ友達との温かい関わりを、これからも大切にしていき、高学年である5年生に向けて力を付けていってほしいです。

かすみ学級(3年生)

かすみ学級では毎年恒例のHIPHOPのダンスに、子どもたちは取り組んでいます。ダンスはダンサーの鈴木真理子さんを講師として招き、指導してもらっています。鈴木真理子さんとかすみ学級のお付き合いも長く、三小にかすみ学級ができた当初から指導して頂いているので、かれこれ10年以上も関わってくださっています。かすみ学級の子どもたちのことを想像しながら、曲を決め、振り付けを考えているようです。毎年子どもたちを見て頂いているので、「高学年になってリズムの取り方や、ダンスの動きが上手になってるね」と、褒めてくれました。

子どもたちも毎年、どんな曲なのかを楽しみにしています。以前にダンスした曲を聞くと「HIPHOPで踊った曲だ」と、ずっと覚えているみたいです。今年のHIPHOPのダンス曲は「HUNTER」(LIL LEAGUE from EXILE)です。アップテンポな曲であり、前向きで勇気が湧いてくるような歌詞も素敵です。

子どもたちはダンスの指導をしてもらった後、次回の指導までに教えてもらった振り付けを楽しそうに練習をしています。最初は苦手なことや難しいことも少しずつ繰り返し、練習することで徐々に自信がついていく様子が目に見られます。子どもたちの頑張る姿を見ると、教師も元気や勇気をもらっていることを実感します。

お知らせ

- ◆新年度の学級編成等に影響があるため、年度末に三小を転出する予定がありましたら、早急に担任までお知らせください。
- ◆先日の保護者アンケートはGooglefoamを活用して行いました。多くの保護者の方にご協力いただき、ありがとうございました。いただいたご意見をもとに学校で検討した結果は、2月19日(月)から行われます保護者会の中で「教育活動報告会」として報告させていただきます。
- ◆インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖が、近隣の学校で見られます。学校では引き続き、「手洗い・うがい」や「換気」を徹底するよう指導していきます。ご家庭でも、体調管理に留意していただき、清潔なハンカチを身に付ける、必要に応じてマスクを持たせるなどの対応をお願いいたします。
- ◆先月29日から代表委員会の発案により「能登半島地震被災支援募金活動」を行っています。子供たちが課題意識をもって自主的に始めた活動です。ご家庭でも話題にしてください、ご協力いただくと幸いです。

図書ボランティアの読み聞かせ

◆29日（月）の中休みに Book Pit さんによる読み聞かせがありました。
50人以上の児童が、図書室に集まって読み聞かせを聞きました。

絵本の読み聞かせを聞いている時は、マナーもとてもよく、静かにお話の世界に入り込んでいました。絵本も何冊か読んでいただきました。みかんの本の読み聞かせでは、みかん一房に約270粒がついていると聞き、その多さに驚いていました。

事前に図書ボランティアの方は、絵本の勉強会を開き、読み聞かせの練習をしていただきました。和やかな雰囲気で行われた読み聞かせの会。参加していただいたボランティアの方、ありがとうございました。

学校公開

◆道徳授業地区公開講座について
テーマ：「あいさつを通して、人との関わりを大切にできる児童の育成について」

その他詳細は、「道徳授業地区公開講座のご案内」をご覧ください。